

新嘗を祝い、新穀感謝の日。今年程本当にようやくにこの日にたどりついたという想いで一杯の年は、過去 30 年なかったような気が致します。昭和 41 年～43 年当時、ほぼ 6 町歩の水稻専門の農家であった頃、3 年連続の冷害に見舞われ、毎年父親が口癖にしていた言葉は「収穫物の無かった時程、手間だけは余計にかかるんだ」と 3 年間つぶやきつぶけていたのを、今、時代を越えてしみじみと身にしみております。

そんな父が、私が長男ではあるけれど、農業に見切りをつけ上京して進学したい旨伝え、金はだせないけど、ヒマだけはあげると、新聞奨学生としての歩みを認めてくれ、自らは第一次水田休耕政策に乗じて、補償金をリスク担保にしながらとはいえ、全面積畑作に切り換え、あわせて子供の力もあてにせず、より手間のかかる全面積自然農法への歩みを始めたエネルギーはどこから湧きでてきたのか、当時の父よりは 10 年、年齢をとってしまいましたが、今なんとなくわかるような気が致します。

55 年前私の出生の危機を乗り越える基となった、自然農法、自然療法との出会いが、親子二代にわたるこのエネルギーの原動力となっているようです。日一日と日が長くなり始める冬至の翌日の創始者の生誕を期して自然農法秋場農園（仮称）としてホームページを開設する予定でおりますが、創設者である恩師の御子息夫妻の薫陶を受け、秋場家三代目である長男はアフリカチュニジアで、次男はオーストラリアカウラで、長女の夫はアメリカムファーストで、創始者や恩師の御意思を体現しようと全力で歩んでくれている事、私共夫婦にとってどれほど力づけてくれているか、計り知れません。

35 年前父が 3 年連続の冷害から、めげずに正しく立ち上がり、35 年種子を継承してくれた自然農法 35 年圃場の 17 年産光黒大豆、昨日 11 月 30 日をもって最終御予約を頂き、完売の運びとなり、6 年ぶりの大赤字年も、なんとか年越しの見通しも立ちました。衷心より皆様に御礼申し上げます。

この厳しい年に、水害地修復しながら、新墾した 3.2 町歩圃場。長男誕生され喜びのうちに 2009 年から無肥料での土地の活用を申し出てくれている第一拠点に隣接する小川明さんからの 3.7 町歩の土地の活用も含めて、30 年前、国の融資を受け、18 町歩体制で始まり、今後 30 町歩体制により、すみずみまで土地力の現状を認識する中で、田畑作北限地帯における大規模農法による無投入で最大限の土地力進化の在り方を考慮したローテーション 5 カ年計画を大逆境年に立ち上がった父に見習い、現時点で考えられる適地適作の中、土地力進化計画を整理させていただきました。

化学肥料・農薬を使用せずとも肥効確率化学よりも少ない、有機、量的には化学以上に使用し規制緩和による農業使用もありうる有機頭になりきると灯台下暗し、日々自然界にありながらも鳴り鳴りてやまない大自然のどよめき音、この地球は大宇宙に呼応して地上空間にみなぎっているという不可視のエネルギーの宝庫であるという事から、私達の耳目はシャットアウトされる可能性がございます。

先号で申し上げましたように、私共夫婦のような凡人でも実感できる世界。そして健康で全力で元気に働き続ける事ができる道。それは仕事に忙殺されかかっても早朝とかに工夫して、時間を生み出し、二進も三進もいなくなってしまうからではなく、いつも先取りしてアグレッシブに予防医術となるよう、夫婦の自然療法への営みが宇宙空間のめぐみのエネルギーにも耳目が反応していける道だと感じてやみません。

天地人、明地、天と地の間であって万物の霊長としての人の在り方が、天と地との間をき然として結び、満ち満ちた叡智と真の柱としての存在である事が、例えば農業者にあっては技術的にタイムリーに自然体で対応でき、適当な温度、乾度、湿度をいただけるのではと。。。。

天の遠心と地の求心の律動のウズが一体となり人は空間の融合調和のエネルギーを受けとめる事ができる基点となりうるという事を。。。

広大な北の台地にあって実感し易いであろうし、ぜひともその域に達して下さいとのメッセージを提案頂き、夜明け前の黎明時の如く近年最も、暗く、厳しい、年の瀬にあって着実な一步を踏み出す決意を新たにしております。

9月10月11月12月とその月々の自然界の警鐘に反省し、想いを記させて頂いた、歳時記 No41,42,43,44号、もしホームページ開設する事ができましたら、しばらくは固定させて頂き、現在一日に数時間、いも、豆の選果、発送にあって、残りの時間は次年度準備にあてております。

冬期間、自らもじっくり書かせて頂いた文章をかみしめながら、春耕の準備に向かいたいと思います。

2007年は5,6,7の土が成る年、又平成十九年は天地のめぐみに対する九(つくし)を重ねて尽くし切っていかなければと、心にきざませて頂いております。

そして皆様にとりましても輝かしい第一歩となりますよう心から祈念しております。